

「日立は労働者の雇用と地域経済を守れ！」

「日立リストラかながわ対策会議」 が発足・行動を開始

広範な諸団体と 個人で結成

日立が史上最大のもうけをあげながら「常時リストラ」「黒字イストラ」をすすめていることに反対し、雇用と地域経済を守ろうと「日立リストラかながわ対策会議」が、11月28日発足しました。参加者は、支援の輪を広げて、職場でのたたかいをすすめる決意を表明しました。

結成総会には、神奈川県連や電機リストラとたたかって実績をあげている電機・情報ユニオン、地域から15団体の代表らも参加しました。

とんでもない日立の

「黒字リストラ」 日立の経営姿勢への

批判相次ぐ

主催者あいさつで神奈川労連の山田副議長は、労働者を人としてではなくコストとしか見ない日立の姿勢を批判。リストラに反撃し、労働者の雇用とくらしを守るために、たたかう仲間を増やそうと呼びかけました。

日立懇の馬場副代表は、日立

の経常利益は過去最高で6000億円を超え、内部留保も3兆円を超えているが、これは労働者を犠牲にしたリストラとコスト削減の結果だ、今後日立はこの施策をさらに進めようとしているが、この道は日立にとっても未来はないと告発しました。

電機・情報ユニオンの米田委員長は、27万人を超える電機のリストラは依然として止まらず、労働条件の改悪とセットですすめていると批判。労働者や国民を犠牲にして、大もうけを追求する電機リストラとのたたかいは国民的課題だ、と強調しました。

「対策会議」は次の

行動をします。

- 神奈川県内事業所などで労働者を励ます宣伝行動
 - 日立や各自治体、関係機関などへの要請行動
 - 懇談会、学習会等を開きます。
 - 各構成団体での相談活動を強めます。
- ぜひ、困っていることのご相談、要望やご意見をお寄せ下さい。



あいさつする神奈川労連の山田副議長



「日立リストラかながわ対策会議」結成総会

発行 **日立リストラかながわ対策会議**

〒142-0043 東京都品川区二葉 2-20-8 2F

Tel:03-6421-5323/Fax:03-6421-5324

<http://hitachi-risutora-kanagawa.blogspot.jp/>

日立による大リストラから

雇用と暮らしを守るために力を合わせよう!



戸塚地区では

面談では「私は日立に

残りませぬ」が大事

中西会長は10月の記者会見で、「上期には情報・通信部門の通信事業を中心に二千人を削減」とまるで他人事のように述べた後、「下期にも約千人程度に削減を行う計画だ」とさらにひどいリストラ策を公言。11月に「再就職支援サービス」など社員を日立から追い出すための「サポート制度」説明会が開かれ、いよいよ個別の面談が開始されます。

職場では、「冬の一時金では情報・通信システム社の業績が上がっている。全体で支えればいい話だ」「斎藤情報・通信システム社長も、通信事業の他は忙しい、と言っている。なんでこんなひどいやり方をするのか」と怒りの声が上がっています。仮に「異動」が必要な場合で

も、「日立の社内」が基本であり、最低でも「日立グループ内」の仕事の確保が当然です。「グループ外の異動」というのは、「日立からの首切り」で、論外です。

秦野地区では

日立は出向者の

雇用確保に責任を持って

2012年10月、日立情報・通信システム社・IPPプラットフォーム事業本部神奈川事業所では、事業の縮小（大型サーバ部門の撤退）により、数百名もの従業員が日立グループへ出向に出されました。

2013年10月に日立は、製造部門の集約を目的に日立情報通信マニユファクチャリング（HITM）を設立しました。ところが、出向に出されていた社員はこの新会社にも入れずに、「社外転身」か、出向先が認めれば出向先への「転属」を迫られたのです。「おれたちは追いつけられぬままだ」という怒りの

声は当たり前です。出向者に対して、こんなひどいやり方でなく、日立本体、HITMを含めて最低でも日立グループ内での雇用を確保することが日立の当然の責任です。

小田原地区では

身勝手な選択と集中は

許されぬ

HITMは、小田原を本社にし、小田原、秦野、郡山を製造拠点とするとして設立されましたが、1年もたない2014年6月、今度は日立は、小田原からの撤退、秦野への集約を発表しました。

地域経済と労働者にまったく責任を持たないこの発表に対して、小田原市が「遺憾である」、移転後は「日立製作所の関連企業での利用を」と求めたことは、至極当然です。日立は自らがかけているCSR経営を守り、地域への社会的責任を果たすべきです。また、移転後の通勤の負担に対して、何らかの補償策をとるべきではないでしょうか。

リストラ防止5ヶ条

グループ外への異動（解雇）提案を受けたら、以下の5ヶ条で辞めない意思を伝えましょう。

- ① 「私は日立に残ります」とはっきり言う。
- ② 会社側が強引に同意を迫ってきたら、「やめてください」とキッパリ言いましょ。
- ③ 「応じなければ仕事はない」と言われたら、「労働基準監督署に相談する」と言いましょ。
- ④ 「日立が大変」と言われたら、「わたしの生活はもっと大変」と言いましょ。
- ⑤ 困ったときは、一人で悩んでいても解決方法は見つかりません。まずは、相談しましょ。

相談窓口は

- ① 「日立リストラかながわ対策会議」JHPの「お問い合わせ・ご相談」窓口から！
<http://hitachi-risutora-kanagawa.blogspot.jp/>
- ② 電機・情報ユニオン（誰でも一人で、はいる組合）にMail, 電話かFaxを！
E-mail denkiunion@gmail.com
TEL:03-6421-5323/Fax:03-6421-5324
- ③ 日本共産党 横浜市議員 岩崎ひろし「なんでも相談」の「ほっと戸塚」に電話かFaxを！
TEL:045-865-0074/Fax:045-865-0594

個人で悩まずまず相談を!!